

平成25年度アクションプランの重点的取組

設定時における時間軸の整理

(効果が期待されるものや、副次的・派生的な効果が得られるものなどの整理)

	(凡例) ◎：当該重点的取組において効果が期待されるもの ○：重点的取組の結果、副次的、派生的に効果が期待されるもの	災害に対する 予防・防災のために 必要な技術	災害発生時や 被災直後に 必要な技術	復興・再生過程で 必要な技術
命・健康	① 地震発生情報の正確な把握と迅速かつ適切な発信	○	◎	-
	② 津波発生情報の迅速かつ的確な把握	○	◎	-
	③ 迅速かつ的確な避難行動をとるための備えと情報提供	◎	◎	-
	④ 災害現場からの迅速で確実な人命救助	○	◎	-
	⑤ 被災者に対する迅速で的確な医療の提供と健康の維持	○	◎	○
仕事	⑥ 競争力の高い農林水産業の再生	-	-	◎
	⑦ 革新的技術・地域の強みを活用した被災地での雇用創出・拡大と産業競争力強化	-	○	◎
居住地域	⑧ 災害時の行政機関・事業所等の事業継続の強靱性の向上	◎	○	-
	⑨ より低コストな液状化被害防止	◎	-	○
	⑩ 地理的条件を考慮した配置・設計によるまちの津波被害の軽減	○	-	◎
	⑪ 災害に対する構造物の強靱性の向上	◎	○(一部)	-
	⑫ 大量の災害廃棄物の迅速、円滑な処理と有効利用	-	○	◎
	⑬ 産業施設等による火災等の二次災害の発生防止機能の強化	◎	-	-
	⑭ 新しいコミュニケーションづくりを促すコア技術の開発と実装	-	-	◎
	⑮ 迅速かつ的確に機能する強靱な物流体系の確保	○	◎	-
	⑯ 必要な情報の把握・伝達手段の強靱さの確保	○	◎	-
	⑰ 電力、ガス、上下水道の迅速な機能回復	◎	○	-
放射線物質による影響	⑭ 新しいコミュニケーションづくりを促すコア技術の開発と実装(再掲)	現在必要な技術		◎
	⑯ 放射性物質による健康への影響に対する住民の不安を軽減するための取組			◎
	⑰ 除染等作業を行う者の被ばく防止の取組			◎
	⑱ 放射性物質の効果的・効率的な除染と処分			◎
	⑲ 農水産物、産業製品の放射性物質の迅速な計測・評価、除染及び流通の確保			◎
⑳ 被災地である東北が故に可能な、あるいは、積極的に東北から全国・海外に発信可能な取組	○	-	◎	